



地区委員会委員長 報告



地区財務委員会

榊原 勝俊

さかきばら かつとし

西尾ロータリークラブ

服部年度1年間 地区財務委員長を担当させて頂きました。

地区財務委員会は直前3年間の地区幹事経験者にて担当させて頂いています。この委員会は地区内会員の皆様より頂きました地区資金を地区として効率的有効に活用されるよう管理する委員会です。役割内容はガバナーエレクトがガバナー年度の予算を組み立てる折にその経験を生かし助言させて頂く事であり、又服部ガバナー年度における予算の執行が予算通り行われているかを確認させて頂く委員会でもあります。

昨年8月に加藤年度地区資金決算案を検討し本年2月には神野年度の次年度地区資金予算案を検討させて頂きました。

服部ガバナー、岩月地区幹事、河合地区会計長始め、皆様のご尽力により、当初の予算通り執行出来たのではないかと考えています。

また、年度前半を病気治療のため委員の皆様はじめガバナー事務所その他関係者の皆様には大変なご迷惑をお掛けいたしました

一年間たいへんお世話になり有り難うございました。



危機管理委員会

黒田 勝基

くろだ かつもと

高浜ロータリークラブ

3年間の危機管理委員長の任期を無事終了することができました。これも各クラブの方々、地区委員会の方々をはじめ、3年に亘る該当年度地区役員の方々のご協力に感謝申し上げます。さらに、危機管理委員会を構成する外部役員の方々にも感謝申し上げます。

委員長の3年間、計画を立てて委員会運営を図ってまいりました。

初年度は、地区危機管理委員会組体制の整備、第2年目は、各クラブへの危機管理への理解度、認知度のアップ=危機とは、地区委員会活動だけではなく、日常のクラブ奉仕活動の中にも存在していること(想定問答の作成)、第3年目は①危機対応の基金、保険の重要性に関する地区役員への啓蒙、②地区内全クラブ対象の危機管理研修会の企画と実施などを中心に活動してまいりました。

特に今年度神野ガバナーのご理解をいただき、全国でもまだ未整備の地区危機管理基金の開設、その運用規程の策定も服部年度で承認をいただきました。この基金は、当2760地区の地区委員会及び各クラブの奉仕活動の活性化と安心・安心を向上させるもので、高レベル・広範囲の奉仕を実行するときに起こりうる想定危機に対応できるものです。

更なる危機管理に対するご理解と、ロータリーの奉仕活動の活性化を祈念申し上げ、3年間の危機管理委員長としての報告とさせて頂きたく思います。

3年間ありがとうございました。



会員増強委員会

光岡 新吾

みつおか しんご

豊田ロータリークラブ

昨年度に引き続き、会員増強委員長2年目として、1年間を忙しく、楽しく、有意義に過ごさせて頂きました。この委員会のスタートは早く1月から第1回の委員会をスタートし、メイン事業である7月の会員増強セミナーまではほぼ毎月開催しました。今年度の会員増強方針、増強方法、退会防止等を委員会メンバーで検討してきました。

この地区は非常に女性会員の割合が少ないので、とにかく女性会員を増やそうということで、会員増強セミナーは2750地区、東京恵比寿ロータリークラブの元地区会員増強委員長、女優でもある、知名度の高い、司葉子氏に「ロータリーと私」という演題で講演をしていただきました。

その後「女性会員の多いクラブの魅力、会員増強の成功例」を1、半田RC、2、瀬戸北RC、3、名古屋アイリスRC、4、三河安城RCの4人の方に語っていただき、非常に好評でした。特に女性幹事2人の自クラブの話は説得力があり、参加者の多数の方が女性会員のいるクラブの魅力を感じて帰っていただきました。皆様の協力のおかげで今年も371名の方に入会していただき、大変ありがとうございました。今後も引き続きよろしく願いいたします。



拡大委員会

千田 毅

せんだ つよし

名古屋東ロータリークラブ

会員の現状維持が大切ですが、また一歩進めて新しいクラブを作るという拡大が最大の会員増強の一つです。

ポールハリスのいう時代とともに変化するロータリーですが、その変化についてゆく拡大の方法を考えなくてはなりません。

年度初めに新クラブ誕生に向けて拡大委員会一同努力して参りました。諸事情により退会された方々の声に耳を傾けて拡大の一助になればとやってみてまいりました。

当初の想像より困難の道でしたがガバナー始め皆様の御理解と御助力のおかげで誕生いたしました。

新クラブへの温かい御支援と御声援を御願ひしクラブの成長を私と共に見守って頂きたいと思っております。

拡大委員会に勤めさせて頂いた期間本当に皆様のお世話になりました。心から感謝を申し上げ報告といたします。



公共イメージ向上委員会

篔橋 美久
かごはし よしひさ

名古屋中ロータリークラブ

皆様には、地区重点課題として、オンラインツールの活用（マイロータリーの登録、クラブセントラルの情報入力シェアする）、ソーシャルメディアの活用（Facebook、Twitter等）をし、広報につなげるを目標に活動して参りました。

特に、オンラインツール、ソーシャルメディアの活用・推進に当たり、全84クラブにMy Rotarianを任命して頂きました。

今後は、この任命されたMy Rotarianを中心に継続的な活動として推進されることを期待しております。

また、マイロータリーの登録は、年度初めの約5%から25%強へと進めることが出来ました。

この登録件数が増え活用が高まることにより、ロータリーの良さ、魅力が増し、各クラブにおける活動が、より一層活性化し充実した活動が可能となります。

是非、これからもマイロータリーの活用をお願い致します。

地区HPを地域社会の方々向けに主眼を置き刷新致しました。

大変見やすくなりましたので、是非、アクセスしてご覧ください。

これからは、各クラブとの連携を通じ、地域社会への広報活動を行ってまいります。ソーシャルメディアの活用として、各クラブ・ロータリアンにFacebookの開設、利用をお願いして参りました結果、大勢の方に開設して頂き、活用の広がりを見えています。

各クラブへの卓話では、マイロータリーの登録、ソーシャルメディアの説明等を精力的に行い、各ロータリアンのご理解を少しは頂けたかと思えます。

また、1年間に2回のクラブ委員長会議を開催致しましたが、各クラブからの出席者も多く、盛大に開催することが出来ました。

特に、第2回クラブ委員長会議では、データに基づいた解説をわかりやすく、説明がされ、質の高い会議であったかと思えます。

これも、各クラブ・ロータリアンのご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。一年間、大変お世話になり有難うございました。



職業奉仕委員会

匹田 雅久
ひきた まさひさ

豊橋北ロータリークラブ

服部ガバナーの銘を受けて委員会のフェースブックを開設しました。地区研修・協議会や委員長会議並びに委員会の情報を定期的に掲載しています。「地区職業奉仕」で検索して頂ければ閲覧が出来ますし、問い合わせも出来ますので活用をお願いします。

地区委員長会議は11月に開催し、講師に松戸ロータリークラブの土屋亮平バスターガバナーをお招きして「私の職業奉仕観」と言う題名で講演を頂きました。講演内容は冊子を作製しました。講演後は分区ごとに分かれ、各クラブの活動予定や現状を話し合い、分区ごとに発表を行い、会議終了後は懇親会で疲れを流しました。

その他の委員会としての活動は、卓話の要請を受けた所へ出向することです。今年度は16クラブからの要請を受け、一昨年に作成したDVDを使い職業奉仕を分かりやすく説明しました。

10月の地区大会にお呼びした日本のロータリー100周年委員会ビジョン策定特別委員会 委員長の本田博己バスターガバナーの講演、そしてロータリーの友1月号に掲載された記事でRIの考え方と日本のロータリアンが考える職業奉仕の違いが浮き彫りになりました。

今年度の後半は、本田バスターガバナーもこの話題を取り上げられ日本の職業奉仕の方向性を語ることで沸騰してます。



社会奉仕委員会

鈴木與左衛門
すずむら よざえもん

あまロータリークラブ

皆様のお蔭で3年間の委員長の職を終える事が出来ました。

3年を振り返りますと、これまでの各クラブの奉仕活動を現況調査報告書にまとめる事によって、クラブ同士の情報共有ができた事、また初の試みである奉仕活動賞の授与により、4クラブの表彰を通して他クラブの活動にも目を向ける機会が得られた事によって、奉仕の輪を広げるのに役立てたのではないかと考えています。

日本のロータリーの奉仕活動を考えてみますと、奉仕の芽を見つけ出すのに苦勞がございます。と言うのは「水、教育、母子、識字率」のどれをとっても一定の水準に達しているからです。しかし、各地域には先進国としての悩ましい問題も抱えています。こういった問題に注視し、各地域のロータリアンが一つひとつ拾い上げて幅広い奉仕活動に結び付けなければなりません。まずは、一般の人々にロータリーの奉仕活動をわかって頂くために、地区の会員全体で一つの活動を行うことも必要かと思えます。これまでの活動に囚われず、奉仕活動の研究組織を作り、これからの時代に合った、尚且つロータリーの活動が他団体の模範となるような活動をして頂きたいと思えます。このロータリー第2760地区が奉仕活動を通して問題解決の為に尽力している団体であると知って頂く事も必要でしょう。これからの活躍に大いに期待したいと思います。

3年間ありがとうございました。



国際奉仕委員会

鈴木 宏司
すずき こうじ

半田南ロータリークラブ

初めて地区国際奉仕委員長の任につかさせて頂きました。張り切りすぎてたくさんの事業をかかえてしまい、委員会メンバーには大変な負担と迷惑をお掛けしました。それでも皆様の協力のおかげで何とか終えることが出来ました。ありがとうございました。

4月には第4回WFF収益金と地区補助金そして各クラブさんからの一任金を使わせて頂き、インドネシアジャカルタ市内のスラム街の子供たちへ教育支援活動を、加藤陽一WFF実行委員長を団長に14名で訪問してきました。3410地区とのパイプも出来たので、今後各クラブさんとの交流が続いていくことを願っています。

同じ4月に、タイバンコクの病院にて母子の健康と健全育成に関するグローバル補助金事業を韓国3600地区タイ3350・3360地区との共同事業で行なってきました。

2月には、地区社会奉仕委員会との共同事業で、ラオスビエンチャン県ポンソン村の簡易水道システム（給水塔）建設事業引渡式を行なってきました。

また、ネパールブトワル地区における母子の健康に関するグローバル補助金事業申請も6月に入ってようやく申請までこぎつけることが出来ました。順調に行けば2018年1月頃には視察できそうです。皆様の参加お待ちしております。

次年度も国際奉仕委員会の活動にご理解とご協力よろしくお願い申し上げます。



青少年奉仕委員会

寺本 善雄

てらもと よしお

名古屋みなとロータリークラブ

長い歴史のある当地区の青少年奉仕活動は、前年度一つの節目の年となりました。

インターアクト委員会は、昨年10月に「第5回全国インターアクト研究会」を開催。活動発表と共にWFFにおけるアクターの活躍を見ていただき、全国に大いにアピールしました。

RYLA委員会は、今年3月に初開催となる「第1回日本RYLAセミナー」を開催。地区RYLA参加者も大変刺激を受け、また当地区のRYLAの特徴である多数の高校生の参加するセミナーを全国に伝えることができました。

青少年交換委員会は、10名の海外派遣生を送り出すとともに海外からは同じく10名の留学生を受け入れました。

ロータリーアクト委員会は、活動内容を広く知っていただくDVDビデオを作成。このビデオを使った卓話を実施し手応えを感じております。

4委員会は相互交流も積極的に進め、WFFでは一致協力した活動が事業の成功を支えています。RYLAセミナーの高校生参加者80名の半数はインターアクターです。来日留学生も主要な事業には全員参加しております。また、米山奨学生学友が今年度RAC会長に就任する事例も出てきました。長年の課題であった4委員会、地区内の全ての青少年関係者の相互交流が一定の成果を上げて来たと考えております。

今後とも青少年奉仕活動に対する更なるご理解とご協力、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



インターアクト委員会

佐藤 裕彦

さとう やすひこ

豊橋ロータリークラブ

【第27回インターアクトクラブ年次大会】2016.7.18(海の日):ウィルあいち
名古屋千種ロータリークラブがホストロータリークラブとして、また桜花学園高等学校インターアクトクラブがホスト校となり、参加者600名の大会が開催されました。今回大会のテーマ『ぬりえ』は、各校が今までに作り上げてきた伝統をぬりえの下絵に例え、その下絵にそれぞれのインターアクトクラブが色(個性)を描いて欲しいという気持ちが込められたものでした。個性豊かな17のインターアクトクラブが、活動報告を行いました。

【第29回インターアクトクラブ海外派遣研修】2016.7.26~8.3:オーストラリア・パース
各学校IACから選ばれた32名の生徒と春日丘高校IAC顧問の松本先生(団長)、豊橋商業高校IAC顧問の木下先生(副団長)により、①ホームステイによる交流②小学校での日本文化の紹介と交流③高校での体験授業と交流④Comoインターアクター、West Perthロータリーアクター、またComo RCとの交流を実施しました。

【第5回全国インターアクト研究会】2016.10.21~22:名古屋・ミッドランドホール(スクエア)

ロータリアン・IAC顧問の先生方併せ約200名の参加者のもと、『主役はインターアクター』をテーマに、研究会の意義、またこれからの方向性を参加者全員で議論共有しました。また2日目のプログラムでは、研究会史上初めて会場にインターアクターが登場し、大いに盛り上がりました。

【第4回WFFボランティア活動】2015.10.22~23:名古屋・栄/久屋大通公園
2日間で先生・生徒含め延べ250名という多くの参加者により①会場の清掃活動②ゆるキャラ運営③ポリオプラスブースでの募金活動④ステージパフォーマンス等のボランティア活動を行いました。頑張ってくれた生徒たちに改めてお礼を申し上げます。



ロータリーアクト委員会

西本 一幸

にしもと かずゆき

名古屋南ロータリークラブ

今年度はロータリアンのみなさんへの認知度と理解度を深めるべく、情報の発信に力を入れ、FBでの活動報告、プロモーションビデオ(PV)の制作・卓話などを数多く実施してまいりました。

PVにつきましては海外ロケなど広範囲に渡ってロータリーアクト取材し、ガバナリーアクト卒業生の方にも協力をいただき制作をしました。少しでもロータリーアクトへの関心が高まるよう活用してまいりたいと思っています。

地区ロータリーアクトの活動としては、9月に豊田で開催された三地区(愛知・岐阜・三重・長野)合同プロジェクトから始まり、田原にて開催の地区親睦、12月には金沢にて国内研修、2月にはクアラルンプールにて海外研修、4月には豊橋にて次年度のための研修協議会とガムで開催された全国RA研修会、6月には年次大会を名古屋で開催しました。今年度は2回も海外へ行く機会があり、国際ロータリーの一員であることを肌で実感でき、新しい仲間との出会いや、大変多くの貴重な経験と学びを得ることができました。

しかしながら、こうした活発な活動とは裏腹に存続問題に直面しているクラブもあり、そうした危機に対する対応が問われる年度にもなりました。

今後はもう少し各クラブの活動にも日頃から気を配り、地区委員会としてしっかりとサポートしなければならぬと反省しております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



RYLA委員会

竹内 幹尚

たけうち みきひさ

豊川ロータリークラブ

1959年プリズンRCが主催して始まったRYLAは世界中に広がり約58年の年月が経ちました。当地区RYLAも25回となり、変革の年となりました。ロータリー活動の中でもRYLAは周知がまだ浅く分かりづらいと言われていました。

RYLA研究会では各地区のRYLAプログラムの温度差の違いを実感しました。

「RYLAプログラム」の位置付けの象徴的な特色は、期間限定性と対象者と内容の多様性です。今年度の委員会テーマ「RYLAの始まり!」(始まりはあっても、終わりはない)これは、RYLAセミナーは受講して終わりではないのですよ、これから地域に帰って、リーダーとして実践して頂ける事を委ねるという事です。第25回地区RYLAセミナーは、豊田RCがホストクラブとして、つとひの丘で開催しました。120名に及ぶ新たなRYLArianがロータリーファミリーに加わりました。若者の活躍に期待します。そして、第1回日本RYLAセミナーも同時に今回開催しました。全国のRYLAを互いに体験し、活性化する全国レベルのリーダーシップ研修です。1年間ガバナリーをはじめ、多くの方々のご協力のもと、行事を開催出来た事に感謝申し上げます。



青少年交換委員会

高木 政義
たかぎ まさよし

名古屋大須ロータリークラブ

2016年夏学生の派遣、受入がスタートした青少年交換プログラムは17年の夏に終わろうとしています。現在の当地区プログラムは長期(1年)交換で夏が起点となっているからです。今年度は、派遣10名、受入10名でした。国は、アメリカ、カナダ、フィンランド、ノルウェー、スイス、フランス、ブラジルの7カ国です。青少年交換プログラムは単年度で完結しません。2017-18年度に派遣される候補生9名が2016年の7月実施された試験で選ばれています。2016年8月の第1回オリエンテーションには受入学生(INBOUND)と派遣候補生とが共に参加しています。オリエンテーション以外の青少年交換関係の行事についても同様です。第1回のオリエンテーションは派遣候補生及び来日間もない海外からの学生の研修スタートで、その後も10回を超えて開催されました。毎年3月に実施される「白馬スキーの集い」は特別なものです。白馬ロータリークラブ主催のこの「集い」は今年度で30回となりました。受入学生の最も印象的な日本での思い出の一つとなっています。派遣先からの帰国生10名による9月の帰国報告会は興味深い内容でした。今年度の青少年交換プログラムが実り多いものであったのも、関係者の力強い支援の結果であります。今後ともどうかよろしくをお願いします。



ロータリー財団委員会

中村 公彦
なかむら きみひこ

名古屋名東ロータリークラブ

本年度の最終報告をするにあたり、まずはロータリー財団100周年を地区で祝い、クラブで祝う企画を多くの皆様に計画・実施・参加していただき感謝申し上げます。

わたしも今年度より委員長を拝命して当初は頭を悩ました時期がありましたが多くの皆様に支えられ無事終えることができました。

委員長として一番の思い出は8月に行われましたロータリー財団セミナーで江崎柳節PDG、深谷友尋第2ゾーンARRFC、服部良男ガバナーのお力をお借りして財団100周年パネラーとして企画実施できたことが最大の思い出です。

あえてもう一つ言えば12月にVTT委員会のグローバル事業でフィリピンケソン市への医療支援で服部ガバナーと同行させていただいたことです。

WFF、地区大会のみならず各分区主催でのIMやチャリティーGOLFコンペを実施され財団への貴重な浄財を預かりできましたことも100周年という冠があつてこそと感謝申し上げます。

最後になりますがロータリー財団委員会所属の皆様には私の無理難題を承知で快く協力していただきました。また田近さんには細かいところをフォローしてもらいありがとうございました。感謝感謝の報告で終えさせていただきます。



資金管理委員会

豊島 徳三
とよしま とくぞう

一宮北ロータリークラブ

「石の上にも三年」何事も耐えて努力すれば目的は達成できる。

委員長を田中年度に拝命し、神野年度に到る五期の任期中、四年を了えるに当り、財団補助金全てに亘り管理を求められ、義務と心得、実施してきました。

財団補助金は公金なるが故に、透明性、校正さ、参加資格、“MOU”に基づく遵守すべき義務等、更に、金銭の寄付行為禁止、会員が額に汗する事、活動終了後の報告書作成、写真、添付すべき諸票等につき、毎年二月、八月開催の財団セミナーの席上、スクリーンを通じ、或いは口頭により、細部に亘り、実務上の指導、対応する心構え等、お願いしてきました。しかし私共の思い上がりに気付き責任を感じ、猛省しております。即ち、会員の馴れから生ずる単純な過失もありましたが、根本的に理解されていない案件が多発したからです。同じロータリーの旗幟のもとに集う会員から罪人を出したり咎めだてする事など全く考えてはおりません。一人の会員、一クラブの問題ではなく、地区全体の今後の補助金に影響を及ぼす懸念を慮れるからです。

財団補助金は難しい、面倒だ、煩わしいと敬遠される事なく、規則に則り、存分に奉仕活動にお役立て下さい。併せて拠出についてもよろしく。



資金推進委員会

松田 茂治
まつだ しげはる

西尾ロータリークラブ

資金推進委員会は、地区における財団への寄付の推進と寄付者の表彰・認証を管理し、主に年次寄付・恒久基金・使途指定寄付・ロータリガードを担当しています。本年度の目標はロータリー財団設立100周年を記念して年次寄付お一人当たり180ドル、ベネファクター各クラブ1名以上、メジャードナー地区で5名でしたが、6月末で年次寄付額185,600ドル、ベネファクター42名、メジャードナー11名という結果となり、寄付総額は初めて100万ドルを突破する104万ドル(前年比125%)となりました。また、今年度よりダイナースからロータリークラブカードが発行され、当地区で7クラブが利用されていますが、その中で利用実績日本一のクラブが誕生しました。皆様のご支援があつてこそ、地域や海外での様々な奉仕活動が可能となります。地域社会での教育支援、きれいな水の提供、ポリオ撲滅活動などを通じて、皆様の思いやりあるご寄付が世界中の人々の人生を変えています。ロータリアンの皆様の慈愛の心に深く感謝申し上げます。



補助金委員会

高山 景一

たかやま けいいち

豊橋ロータリークラブ

我々補助金委員会方針として、区内クラブの皆様が企画した地区補助金、グローバル補助金事業をロータリー財団本部に承認して頂く為、アドバイスさせていただきようにと補助金制度の仕組みやルールについて勉強会を積み重ねました。お陰で向う頂いている新旧委員の理解度の差がほとんど無く誰でもクラブ様の質問にアドバイスできる様になりました。2016-17年度補助金事業を報告致します。■地区補助金／申請件数59件(クラブ54件、地区委員会5件)／申請総額(約19万ドル) ■グローバル補助金(3クラブ、1地区委員会申請途中) ■ご提案／本年度申請頂いた地区補助金事業の内、数クラブは規模を拡大する事によりグローバル補助金事業に変更可能な物が有ります。R財団の補助金を使い、地元に限らず世界各国で奉仕活動がダイナミックに行えます。当委員会では、補助金事業に対し全力でバックアップをしております。引き続き皆様のご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げます。



職業研修チーム委員会

福田 哲三

ふくだ てつぞう

名古屋和合ロータリークラブ

本年度は2016年12月10日～18日まで3780地区(フィリピン・ケソン市)に医療研修チームを派遣して「腹腔鏡手術の指導」を行ってきました。派遣メンバーは竹山廣光名古屋市立大学大学院教授をリーダーに外科医4名、看護師1名、臨床工学技士1名の合計6名。事前にフィリピン政府から臨時の医師免許を取得して、実際に派遣メンバーが手術を行いながらの指導を行いました。研修期間中には服部ガバナーに現地入りしていただき、Dwight Ramosガバナーはじめ3780地区の皆さんと交流を深めていただきました。また中村財団委員長やその他財団委員会の皆さんにも派遣メンバーの激励に現地入りしていただきました。

さらに今年1月14日から22日までは3780地区から医師6名、看護師1名の合計7名を招聘し、名古屋市立大学病院で腹腔鏡手術に関する研修を実施しました。受入れメンバーたちは初めて見る雪に大興奮しながら、充実した研修を終えました。受入れ時にはVTT委員会ほか財団委員会の皆さんや地区役員の皆さんに多大なご協力を賜りましたことに改めて厚く御礼申し上げます。



ポリオ・プラス委員会

加藤 浩一

かとう こういち

犬山ロータリークラブ

ポリオ・プラス委員会の一番大きな事業は、WFFでの「ポリオ撲滅」活動の認識向上とその募金活動です。ポリオとは何かをわかりやすく示したパンフレットやEND POLIO NOWとプリントされている風船、バッジを配布しております。そして「ポリオ撲滅」のための募金活動も積極的に行っております。これは世界中の子供たちをポリオから守るため、主にポリオワクチン購入に充てられます。募金をしていただいた方全員に、特大パネルの前で「あと少し」ポーズの写真を撮影させていただき、今年も笑顔いっぱいの写真が特大パネル全体を覆うようにたくさん貼られました。ロータリアンだけでなく、一般の人を含めた数多くの人から、ポリオに関心を持っていただき、本年度は、募金総額72万円(例年50万円弱)という過去に例を見ない大きな額を賜りました。世界中のロータリアン、ユニセフ、WHO、ビル&メリンダゲイツ財団などの努力の甲斐あって、現在ポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3か国を残すのみとなりました。

2018年地球上からのポリオ完全撲滅をめざし、今後もポリオ・プラス委員会はポリオ撲滅運動の一助となるべく活動をしてまいります。皆様のポリオに対するご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



奨学基金・平和フェロウシップ委員会

長谷川龍伸

はせがわ たつのぶ

名古屋丸の内ロータリークラブ

グローバル補助金奨学生事業として、昨年8月に、奨学生の壮行会及び帰国報告会を行いました。壮行会の参加者は金谷英典さん、早瀬竜也さん、白石直さんの3名、帰国報告会の参加者は西山毅さんでした。また、本年度もインターネットとポスターによる募集を行い、相手地区の協力体制などを整えて、本年6月初旬に1名の奨学生候補者の申請を行いました。間もなく最終結果が出る予定です。

平和フェロウシップ事業につきましては、昨年8月に行われた壮行会に平和フェロー宇治川貴史さんが参加されました。また、昨年6月、新たな平和フェローとして藤本矩大さんの推薦を行い、同年10月に承認をいただきました。これにより、当地区から3年連続で平和フェローを輩出することが決まりました。さらに、本年5月、次年度の平和フェローとして1名から申請があり、当地区も推薦することを決定しました。本年11月に結果が判明します。

その他、ロータリー財団学友会の総会・懇親会が昨年5月に開催され、これを支援しました。当日は、株式会社アグメントの今津悠見社長に「つながる、チカラ」をテーマにご講演いただきました。

様々な事業にご協力いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。



R L I 実行委員会

関口 宗男

せきぐち むねお

名古屋みなとロータリークラブ

服部ガバナーのご意向により、前年度の研修委員会から分離独立致しまして、新たにRLI実行委員会として発足致しました。

RLIは、出来るだけ多くのロータリアンの意見を聴いて、多様性を認め、自らも発言し、自分自身のロータリー観を形作ることを目的としています。DL(ディスカッションリーダー=委員会委員)が色々なテーマに基づいて参加者からの発言を引き出し、話を進行させて行きます。話の進行上、参加者は、ロータリーに対する知識も少しは必要ではないかと思えます。受講対象者はクラブ会長エレクトで、セッションの内容は、リーダーシップ、会員増強、奉仕プロジェクトです。一セッション45分を一日に6セッション、それを3日間、合計18セッションを行いました。

パートIを昨年9月11日に、パートIIを10月16日に、パートIIIを11月20日に、いずれも日曜日に開催致しました。今回は地区外からお一人参加されましたが、本年度の参加者はパートIが72名、パートIIが73名、パートIIIが70名で、3日間すべてに出席された方は46名でした。

又、本年度は、ロータリーの基本に還るといふ観点から、『ロータリーの根幹は「ロータリーの目的」が規定する職業奉仕である』という題目の冊子を委員会に編集し、地区内各クラブ、地区内PDG、34地区のガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー宛てに送付させて頂きましたことご報告致します。



米山記念奨学委員会

金田 英和

かねだ ひでかず

名古屋東山ロータリークラブ

今年度もロータリー会員の皆様には、米山記念奨学事業への多大なご協力を賜り大変ありがとうございました。昨年度は40名の採用数でしたが、今年度は48名の採用数と大きく増えました。一本でも多くの平和への架け橋を架けたいと願う私たち地区委員会は大変うれしく思いましたが、その分クラブへの負担が重くなったことは事実であります。世話クラブを引き受けてくださったクラブの皆様には改めてお礼申し上げます。しかしながら、米山記念奨学事業を理解していただくためには、世話クラブを引き受けていただくことが一番の近道でもあります。今後とも会員各位のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

米山への寄付については、当初目標、会員一人平均2万円以上、特別寄付寄付率80%以上を目指していましたが、残念ながら達成することができませんでした。(一人平均13,922円、寄付率29%5月末時点)服部ガバナーからも、ガバナー賞を設定していただきましたが、達成クラブは5月末時点で7クラブという結果でした。次年度へ向けて会員各位のご協力をよろしくお願い致します。

地区の委員会事業については、計画通り事業を行うことができました。年々参加人数も増えていき、奨学生、学友、ロータリアンの交流の輪が大きく広がったことと思います。この絆を大切につないでいくことが、将来の世界平和へつながっていくと確信しております。全国のロータリアンからの寄付のみで成り立っている米山記念奨学事業。まさに皆さんお一人お一人が主役の事業です。ロータリアン各位の今後ますますのご活躍を祈念し、今年度のお礼とさせていただきます。ありがとうございました。



学友委員会

小島 哲夫

こじま てつお

豊田中ロータリークラブ

学友委員会は当地区では本年度より新しく出来た委員会ですが、実は国際ロータリーでは3年前よりとも力を入れている活動です。「ロータリーの学友」は、ロータリー財団・青少年奉仕・米山記念奨学会、など全ての一般を巻き込んだプログラムに参加した人のことをさします。これまでは、それらのプログラムの修了者は、その分野ごとに財団学友・米山学友・また青少年の各学友というように別々の学友会活動をしていましたが、国際ロータリーではそれら全ての学友を地区単位で一つにまとめた「地区学友会」という組織を作りましょうという考えです。何故でしょうか?それは「リコネクト」という目標に有ります。

「リコネクト」再び繋がる、その言葉通り、各プログラムを終了した学友が、分野ごとだけでは無く全て再びロータリーとつながるための機会を作ろうと言うことで

本年度は、「地区学友会」を結成する所までは出来ませんでした。地区ロータリーファミリーのFacebookの公開や、地区大会に於いて「ロータリーファミリー交流会」を開催し各分野の学友と交流の場を持つことが出来ました。次年度以降もこの活動を継続し、早急に「地区学友会」が結成出来るよう引き継いでいきたいと思えます。



W F F 実行委員会

加藤 陽一

かとう よういち

瀬戸ロータリークラブ

ロータリアンの皆様、こんにちは。服部年度もいよいよ最終場面を迎える時となりました。PETSから始まり長いようで短い一年がアツと言う間に終わろうとしています。ワールドフード+ふれ愛フェスタ(WFF)が10月22日・23日も快晴の中、6万人以上のお客様を迎え無事大成功に終わる事ができ、大勢の皆様のご協力に心より感謝致します。お陰様でこのプロジェクトもRIや他地区に知られるようになり、他地区でも行われる兆しが出ようとしています。

さて、WFFは本年も10月14日(土)・15日(日)に第5回目が神野ガバナーのもと開催する事となり、今その準備に頑張っております。第5回WFFは今まで以上に多くのお客様にご来場いただけるよう企画を立てています。ロータリーのポリオ活動も終わりに近づき、より多くの献金をしたいと思っています。ここで皆様にもお願いですがより多くのご参加はもとより、多くのクラブの皆様やロータリアン企業の皆様には企業献金をお願いしています。是非とも昨年に増してより多くの企業献金、チケットのお買い上げを宜しくお願い申し上げます。第2760地区WFF実行委員会及び国際奉仕委員会ははじめ各委員会のメンバーがお待ちしております。10月14日・15日には栄・久屋大通公園でお会いしましょう。